

檄

＝ 組織総掛かり行動で全推薦候補者の勝利を必ず掴み取ろう ＝

第４８回衆議院選挙はいよいよ最終局面を迎えた。

４年１０ヶ月間の安倍政権は、特定秘密保護法をはじめ安保関連法、共謀罪の国会審議においては数の力により「強行採決」を繰り返し、揚げ句には加計・森友学園問題の追及から逃れるため９月２８日の臨時国会では、所信表明演説や代表質問もおこなわず冒頭解散をおこなった。「国権の最高機関である国会を愚弄する」、こんな安倍政権の暴走を許す１強多弱の政治にストップをかけなければならない。そのために今回の選挙でなんとしても安倍政権を倒さなければならない。

しかし、各種世論調査での情勢は「自民堅調」を報じており、連合北海道としては、このまま推移すれば安倍政権の数の力に依拠した国会運営等を止められず、私たちがめざす「平和主義」「立憲主義」および「勤労者・納税者・生活者の視点に立った政治」を実現することが困難になるとの強い危機感を持つ。

北海道の各選挙区においても報道各社の評価が分かれているものもあるが一進一退の激戦を繰り広げており、なんとしても勝ちきらなければならない。

このような状況を打破するためには、投票率をアップすることが重要である。

この激戦を抜け出し、勝利を確実にするには、各構成組織及び地協・地区連合、退職者組織による「投票に行こうよ運動」の徹底をはじめ、組合員一人一人が知人・友人への声かけなど、連合に結集する組織・組合員が一丸となって最後の最後まで足を止めることなく行動することにかかっている。

今回の総選挙は、立憲主義・民主主義・平和主義を取り戻す重要な戦いであり、わが国のあり方を決める重要な決戦でもある。

日本の将来を守るため連合北海道の総力でこの選挙戦を勝利しよう！

２０１７年１０月１６日
連合北海道 会長 出村 良平

